

出身・経歴

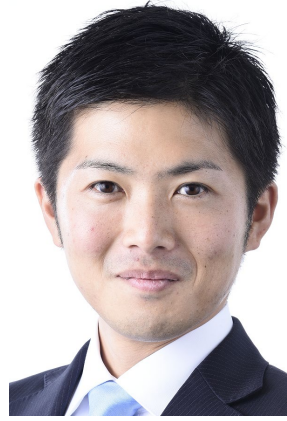
1988年3月8日生 浦上台出身/在住 浦賀小・浦賀中卒
 2006年 県立横須賀高校(58期)卒業 ソフトテニス部
 2007年 吉田雄人インターンシップ生
 2008年 南開大学(中国・天津)へ派遣交換留学
 2010年 慶應義塾大学法学部政治学科卒
 (株)ワーク・ライフバランス インターンシップ生
 2012年 アクセンチュア(株)退社、復興支援のため福島に移住
 復興支援団体 (一社)BridgeforFukushimaに勤務。
 2014年 復興庁福島復興局政策調査官を兼任。
 2016年 4年半の復興支援を経て、横須賀へ戻る。

会派・特技等

特技: 中国語
 趣味: ドラム ソフトテニス 釣り カラオケ 愛犬と遊ぶ
 会派: よこすか未来会議

横須賀市議会議員 無所属

加藤
ゆうすけ



090-7710-7281

http://katoyusuke.net

mail@katoyusuke.net

Instagram: yokosuka_ykato
 Facebook: 加藤ゆうすけ
 Twitter: @katoyusukeYK

議会の新型コロナウイルス関連対応(4月臨時議会)

- ①新型コロナウイルス感染症対策検討協議会を設置します
 新型コロナウイルス感染拡大が市民生活や経済活動に及ぼす影響や課題に対する協議を集中的に行うことを目的としています。
- ②4月30日に臨時議会を開会し、補正予算案等を可決しました
 【主なポイント】※新型コロナウイルス関連の支援策詳細は日々変化するため、記しません。必ず国/県/市の情報をご確認下さい。調べ方が不明な場合、私にお気軽にお問合せ下さい。
 ■当初予算に450億7,351万9千円増額し、一般会計予算総額を2,028億7,351万9千円としました。前例のない大きな金額ですが、特別定額給付金(国民一人10万円給付)が補正額の9割(約406億円)を占めます。給付金の申請・支給は5月中旬～下旬頃となる見込みです。
 ■市独自施策「中小企業等家賃支援補助金」には、15億3,803万円が計上されました。新型コロナウイルス感染流行により大幅に売上が減少した市内中小企業等を支援するため、事業所等の家賃の一部を助成する制度です。

後年度の財政への影響は?

今回の臨時議会で可決した議案には、新設する「新型コロナウイルス感染症緊急対策基金」への積立金20億円を、財政調整基金を取り崩して捻出する決定も含まれます。
 財政調整基金とは、健全な財政運営のため、財源が不足する際に取り崩し、余ったら積み立てる「市の貯金」です。その年の収入が大きく減少した場合や、一時期に多額の経費がかかる場合などの不測の事態に備え積み立てているお金とも言えます。
 今回、これを年度途中で追加で取り崩すわけです。かなり大きな決定です。世界的な緊急事態の中、取り崩しは止むを得ませんが、後年度の財政への影響が大いに懸念されるため、質疑しました。

▽=加藤ゆうすけ ●=市執行部
 ▽財政調整基金は、昨年度末残高103.2億円-今年度取崩額52.2億円=今年度末残高見込51.0億円、と当初予算時点で示された。追加で20億円取崩すと、単純計算では年度末残高見込は31.0億円。今わかる範囲で見込みを伺いたい。
 ●昨年度決算の結果(※今年9月にわかります)、残高が出れば財政調整基金に積み増す。今年度取崩額についても、最終補正の段階で「思ったよりも使わなかった」ともなりうる。31.0億円までは減らないと見込んでいるが、いくらになるか現時点ではわからない。
 ▽財政調整基金のありかたは、後年度の財政運営に与える影響がものすごく大きい。後年度の財政調整基金残高の推移に与える影響の見込みについて、所見を問う。
 ●年度途中の財政調整基金からの取崩しの追加という異例の事態。一方で、様々な事業の中止、当初の予定通りに事業が執行できない要素もある。加えて、市役所自身も様々な見直しを行わねばならない。本市財政から言えば、財政調整基金の果たす役割は非常に大きい。今後、昨年度決算の数値も見据え、対策を考えたい。



よこすか未来会議結成後、初めての代表質問を行いました。

よこすか
未来会議
Manifesto 2019-2023

Manifesto 2019-2023
YOKOSUKA MIYUKI KAGI in Yokosuka City Council



会派を代表して伊関団長が質問していますが、質問内容は「よこすか未来会議 マニフェスト2019-2023」に基づき、会派全員でつくっています。 マニフェストに掲げた政策の実現状況は、本来4月に進捗報告会を開催する予定でしたが、外出自粛要請に伴い、見合わせています。

自分らしくあり続けられる社会へ（女性活躍社会の実現）

●いつまでも男女共同参画社会が実現しないのは、意識の問題???

私が12月定例議会にて行った女性活躍推進に関する質問に対する答弁を受けて、代表質問でも再び取り上げました。12月定例議会にて、課長級以上の女性割合を高めるための方策を巡る私の質問に対して、課長級以上の女性割合が低いことは「横須賀市職員の女性が上にあがろうとしないことが一番大きな理由」と答弁が市長から返ってきたことを前号(チラシvol.17)に掲載したところ、市長の発言に対する失望、現状に対する不満、改善への提案など、様々な方から反響をいただきました。何より、市長の答弁は、これまで本市が推進してきた男女共同参画社会実現を目指した施策、ジェンダー平等に関する前向きなメッセージを打ち消しかねないものでした。そのため、代表質問では、市長答弁の真意を問いつつ、ポジティブアクション（差別により不利益を被る人に特別の機会を提供し、機会均等を実現するための措置）の必要性を問う質問としました。

結果、市長からは「上に上がろうとしない意識の背景には職場環境や制度の問題があり、それらを解決していく必要があるとの思いから出たものだった」と真意を説明する答弁があり、仕事と生活の両立・働き方の見直し・昇任前後のサポートをする研修や制度の整備を一層進める旨、併せて答弁を得られました。

市内高校生の市内就職促進について（総務分科会）

「市内高校卒業後、市内企業に就職するのはたった2割」という現状を変えるため、私は2018年の12月定例議会一般質問にて市長に対策を問いました。その後、市の取り組みが着々と進んでいます。そして今年度、「市内企業と高校生が直接交流を図れる合同企業就職説明会」の実施が予算化されました。さらに、「説明会は高校1,2年生も参加可能」「インターシップ受入可能企業も50社あり、各学校に情報提供した」ことが総務分科会での質疑で明らかとなりました。市内企業について知る機会を市内高校生が得られる、今回の市の施策に期待しています。

⑦ 高校生を対象とした合同企業就職説明会		910
高校生の市内就職を支援するため、市内企業と高校生が直接交流を図れる場として、「合同企業就職説明会」を開催		
・年1回		
(ア) 会場設営委託料		822
(イ) チラシ印刷経費		61
(ウ) 会場借上料		27

引用：予算説明資料

議会・議員の役割とは？

●アンケートに見る、議会への「失望」…？

横須賀市議会は昨年12月～今年1月にかけて、18歳以上市民3,000名を無作為抽出し「市議会アンケート調査」を行い、3月に報告書をまとめました。「議会には関心がないし、情報発信が十分なされているとも思わないし、地域課題解決機能も不十分」など、市民の議会に対する見方が、数値とともに浮き彫りになりました。これは、議会への「失望」と捉えるべきでしょうか？

私は「議会はもっと市民のためになることができるはずだ!」という「批判」、ひいては「期待」と受け止めています。

市議会アンケート調査報告書本文にリンクします→



●皆様から寄せられる情報が、私の力です。

批判・期待を目の当たりにし、改めて、私自身の役割を問い直しました。やはり、議員の第一の役割は、市の意思決定を行う「議事機関」を構成する一員として、いかなる状況でも、「執行機関」(市役所等)の示す方向が、本当にそれで正しいのか見極め、時に提案することにあると、私は思います。見極め・提案には、皆様から寄せられる情報が不可欠です。市役所の職員の皆様が、一生懸命仕事をしてくださっていることはわかっています。それでも議員は、闇雲に一致団結を呼びかけるのではなく「もっと改善できるはずだ」と、より多くの市民のご意見を伺い続け、様々な方向から考え続けるべきだと考えます。皆さんは、どう思いますか？

■感染症予防への十分な配慮が必要な状況が続きますが、お困りごとなどいつでも私までご連絡ください。本人電話番号(090-7710-7281)、メール(mail@katoyusuke.net)、右のQRコード(本人LINEアカウント)など、手段は何でも結構です。

